



京都議定書
誕生20周年
記念講演会

「京都議定書誕生からの 20年とこれから」

1997年12月に国立京都国際会館で開かれた、第3回気候変動枠組条約締約国会議(COP3)で『京都議定書』が採択されました。また、この会議に先立ち同年10月には京都市のローカルアジェンダ21として「京のアジェンダ21」が策定されました。今年、2017年はこれらの年から20年の記念すべき年です。

そこで、京都議定書からパリ協定へつながる流れと今後に向けて考えるための講演会を開催いたします。ぜひご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年12月3日(日) 10:30～12:10 【会場】同志社大学 志高館 SK110 教室
【定員】約150名(申込み先着順) 【参加費】無料

◆ 講演「京都議定書誕生からの20年とこれから」



講師：NPO 法人気候ネットワーク代表 あさおか みえ 浅岡 美恵さん

1947年徳島県生まれ。1970年京都大学法学部卒業。1972年弁護士登録。1975年浅岡法律事務所開設。2006年度京都弁護士会会長。スモン訴訟や水俣病訴訟などの公害問題、豊田商事事件など消費者問題が専門。1996年気候フォーラム事務局長。1998年より気候ネットワーク代表として、市民セクターから温暖化問題を中心とした環境問題に取り組む。2005年、環境大臣環境保全功労者表彰。日本環境法律家連盟所属。著書に『低炭素経済への道』(共著、岩波新書、2010)、『世界の地球温暖化対策』(編著、学芸出版社、2009)ほか。原子力委員会新大綱策定会議委員、中央環境審議会 地球環境部会委員などを歴任。

◆ ユースによるCOP23報告 報告：Climate Youth Japan

高橋美佐紀さん(公立鳥取環境大学環境学部環境学科4年、COP派遣事業統括)
塚本 悠平さん(関西大学文学部環境倫理学専攻4年、COP派遣事業副統括)

Climate Youth Japan(CYJ)は2010年春、気候変動問題に高い関心を持って活動しているユースによって設立されたネットワーク型NGOです。CYJのキーワードは、「気候変動」「政策」「ユースの意見発信」です。社会の中で若者が声を上げることにより、気候変動問題の解決を通じた公平で持続可能な社会の実現を目指します。全国各地で定期的にワークショップを開催したり、キャンペーン活動、海外ユースとの交流・活動、国際会議派遣事業などを企画しています。



SDGs シンポジウム 「各ステークホルダーによる SDGs最前線とディスカッション」

2017年12月3日(日) 13:15～17:00 【会場】同志社大学 志高館 SK110 教室
【定員】約150名(申込み先着順) 【参加費】無料

◆ 講演「企業戦略としての持続可能性」



講師：株式会社伊藤園 常務執行役員 CSR推進部長 ささや ひでみつ 笹谷 秀光さん

東京大学法学部卒業。1977年農林省(農林水産)入省。人事院研修で1981-1983年フランス留学、外務省出向(1987-1990年在米国日本大使館一等書記官)。2005年環境省大臣官房審議官、2006年農林水産省大臣官房審議官、2007年関東森林管理局長を経て、2008年退官。同年伊藤園入社、知的財産部長、経営企画部長等を経て2010-2014年取締役。2014年7月25日より現職。CSR・環境を担当。著書「CSR新時代の競争戦略-ISO26000活用術」(日本評論社・2013年)、「協創力が稼ぐ時代-ビジネス思考の日本創生-地方創生」(ウイズワークス社・2015年)。地方創生まちづくりフォーラム「まちてん」2016、2017実行委員長、日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム理事、通訳案内士資格保有(仏語・英語)。

・各ステークホルダーによるSDGs最前線 ・会場参加型グループディスカッション ・全体ディスカッションも行います。詳細は裏面へ